

山形市コミュニティファンド実績報告書にYMN掲載

令和元年度山形市市民活動支援基金—山形市コミュニティファンド—実績報告書にYMN実績報告が掲載されました。これは、昨年度の令和元年度に公開プレゼンテーション補助支援事業を受けて、実績報告したものです。

支援事業名：山形の未来を担う人材育成事業～次代を支える人材に創造的な能力を育む STEAM 教育の推進～

本事業は、山形の未来を担い、21世紀型能力を持つ人材を育成するために、ロボット教室や3Dプリンター教室、3Dプリンター活用アイデアコンテストを行い、創造的な学習活動を展開することを目的としています。

山形市コミュニティファンドの関係者の皆さんや支援事業にご支援ご協力をいただきました皆さんに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

(公開プレゼンテーション補助)

補助額 350,000円

やまがたメイカーズ ネットワーク

山形の未来を担う人材育成事業～次代を支える人材に創造的な能力を育む STEAM 教育の推進～

●事業内容

本事業は、山形の未来を担い、21世紀型能力を持つ人材を育成するために、ロボット教室や3Dプリンター教室、アイデアコンテストを行い、創造的な学習活動を展開することを目的としています。ロボット教室では、ライトレースロボットを製作することにより、プログラミングや制御学習を実践しました。小学生の児童もはんだ付けを体験しました。

●事業の成果と感想

ロボット教室では、ロボットの製作を通して、ものづくりやプログラミングの面白さを体験することで、参加者のみなさんに大きな卒業感や達成感を得てもらうことができていました。3Dプリンター教室・3Dプリンターアイデアコンテストでは、アイデアを形にする3Dプリンターの素晴らしい可能性を伝えることができ、コミュニケーション能力や表現力を育むことができていました。



3Dプリンター教室では、3Dプリンターを山形市内の高校・大学校に導入し、活用するまでの流れを実演し、様々な造形物を提示しました。また、3Dプリンターを用いたアイデアコンテストを実施して、プレゼンテーションや作成した造形物の展示を行い、情報交換や今後の有効的な活用方法を学びました。

ロボット教室では、「主体的に学び続けて自らの能力を引き出し、試行錯誤したり、多様な視点や感動したりして、新しい価値を生み出していくこと」を掲げています。

フェイスシールドの製作者募集

このたび、5月25日(月)に新型コロナウイルス感染症緊急事態措置の解除を受けて、本格的に授業開始されることになりました。授業の際はフェイスシールドの活用が求められています。

そこで、山形大学工学部古川英光研究室と連携して、手に入らないで困っている学校に提供するフェイスシールド100個を準備したいと存じます。

ついては、下記の通り製作者を募集いたしますので、奮ってご協力の程よろしくお願い申し上げます。

■目的 山形大学工学部の古川研究室の依頼を受けて、地域への普及活動の一環としてフェイスシールドが手に入らないで困っている学校に提供するために100個を製作して準備する。

■期日 5月18日(月)～5月25日(月)

■製作個数 全体で100個

■材料 フレームの材料PLAはYMNより、その他は山形大学より提供していただきます。

■フレームデータ 3Dプリンタータイプ (T_h_s_fsl_4mm.zip)

■製作品集約 山形工業高校齋藤薫先生宛に送付

■申込み 氏名、所属、希望製作個数をメールにて大津 (ootu@omn.ne.jp)まで

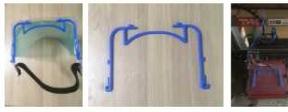
■その他 この機会に、3Dプリンター導入校においては3Dプリンターの活用の一つとして、ぜひフェイスシールドの自作に挑戦していただきたいと思っています。

フェイスシールドの製作、ありがとうございました

このたび、フェイスシールド製作プロジェクトとしてフェイスシールド製作者の募集をしましたところ、高島中学校17個、山形北高校10個、鶴岡高専30個、小関博資様23個、那須広紹様20個、大津30個の予定個数を超える応募があり、製作をしていただいたフェイスシールドのフレームをいただきました。

製作していただきました皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

フェイスシールド製作プロジェクト



フェイスシールドとは
新型コロナウイルス対策として透明シートで顔全体を覆い、くしゃみ、咳などの飛沫と一緒にウイルスが飛ぶのを防ぎます。

目的
地域へのフェイスシールド普及活動の一環としてフェイスシールドが手に入らないで困っている学校などに提供するために100個を製作して贈呈する。

経過・概要
山形大学工学部古川英光研究室ではフェイスシールドのデータを製作して、山形大学附属病院へ贈呈するとともに、附属病院以外でも地域への普及活動をしたいとYMNに依頼をいただきました。連携させていただきながら協力していきたいと存じます。

期日 5月18日(月)～5月25日(月)

製作数 100個

構成 3Dプリンタータイプ(フレーム、透明シート、ゴムベルト、ゴム留め具)

材料 フレームの材料PLAはYMNより、その他は山形大学より提供していただきます。材料は申し込み者に随時、お届けいたします。

作り方 概要、レジュメ、映像など関連情報で、YMN掲示板に掲載します。

フレームデータ 3Dプリンタータイプ (T_h_s_fsl_4mm.zip)
YMN 3Dプリンター Mirai の設定値の例
積層ピッチ 0.4mm インフィル 100% 速度 50mm/s
(温度など環境に相当依存しますが、確かめながらお願いします。)

製作物 製作したシールドは山形工業高校 齋藤薫先生宛てに送付ください。

申込み 氏名、所属、希望製作個数をメールにて大津 (ootu@omn.ne.jp)まで

その他 この機会に、3Dプリンター導入校においては3Dプリンターの活用の一つとして、ぜひ、フェイスシールドの自作に挑戦していただきたいと思っています。

問い合わせ先 やまがたメイカーズ ネットワーク 代表 大津 清
mail:ootu@omn.ne.jp

自作フェイスシールドにチャレンジ

主催 やまがたメイカーズ ネットワーク
協力 山形大学工学部古川英光研究室

